

【取組内容①】探究的な学びを通して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の記録を残すデジタル・ポートフォリオの実践」

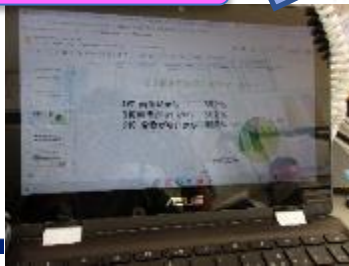
## 2 教科の事例

### 家庭科 「食生活を見直そう」(中2)

目標 食生活の問題解決方法を伝えるとともに自分の課題を見つけることができる。



個別最適な学び

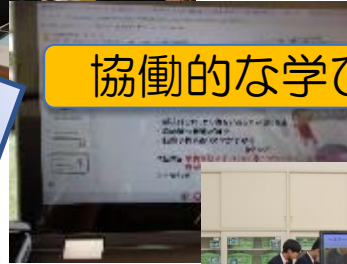


T) グループで、以下の内容スライドを作成するようClassroomで指示する。  
 ①テーマ・メンバー ②理由  
 ③解決方法 ④まとめ・感想

C) 個) 1人1枚のスライド作成を分担共有  
 複数人で1枚のスライド作成を分担  
 ⇒Classroomで課題提出



協働的な学び



C) 協) 4人1組のグループでスライドを作成し、共有する。  
 完成したスライドを学級で発表し、学びを深める。

「食育」に関して家庭科の時間で実施した体験活動において写真・動画データや考え等をGoogleスライドに蓄積し、いつでもそのデータを活用できるようにすることで、家庭科をはじめとして、保健体育・学級活動など様々な教科等の個別最適な学びを推進している。



日常生活へ  
 学びの  
 応用・活用



【関連】食育

給食の残菜  
 市内最小に!

## リーディングDXスクール事業 【実践事例】

吉川市立東中学校

【取組内容①】探究的な学びを通して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の記録を残すデジタル・ポートフォリオの実践」

## 2 教科の事例

総合的な学習の時間 (中1)

## 学習内容



持続可能な未来の実現に向けて一次産業から六次産業まで、様々な取り組みを行っているKURKKU FIELDSでの体験活動を通して、持続可能な社会の実現に向けた、サステナブルな暮らし方や生き方について自分の生活などを踏まえ考えを深めた成果を発表する。

1 生徒が自ら課題を設定

2 探究の過程

3 自分の考えや課題を更新



持続可能な社会について東中学校の身近な環境から「農業」を軸に考える。循環型農業、生産と消費、フードロス等をキーワードとし、個人のプログラムやグループを決定する。農業施設に伺い、食へのこだわりや大切にしたい価値観、場内のサステナブルな仕組みについて学んだことを感想やメモも含めてGoogleスライドに記録し、デジタル・ポートフォリオとして蓄積する。

循環型農業を通じて、「美味しい野菜を作る事」と「自然環境を守る事」が繋がっている事を学ぶ。農作業や収穫体験を通じて循環型農業について、写真・動画データ及び、メモ書き・感想などGoogleスライドに蓄積する。  
また、体験活動を通し、消費のあり方について考え、農作業を通じて野菜についての知識・理解を深める。持続可能な生産と消費のあり方を考え、記録しておく。

学校へ戻り、記録したデジタル・ポートフォリオをもとに個人のプログラムのまとめと発表資料の作成を行う。発表資料については、Googleスライドに残した資料を活用してスライドに解説やポイントを加えて記載し、発表を行う。学級で行った発表をもとに自分のプログラムをもう一度見直し、今後の自分の生活の仕方について目標を立てる。

子供の発表を  
学校の財産に

生徒のよい実践事例や発表資料については、個人情報を除き学校の共有ドライブ(あじさいドライブ)で保存し、次年度の好事例として残すことで、教師の指導と評価の一体化につなげる。